

解答例・全訳

言語を用いて論理的に妥当な結論に到達することは、極めて複雑な作業である。まさにこの点こそが、その作業を数式に依拠する非言語的な分野とは異なるものになっている。たとえば数学では、数 A と数 B のどちらが大きいかを判定せよという命題が与えられたなら、単純に $A-B$ の値を考えることができる。その結果が正であれば、Aの方が大きい。このように、客観的な尺度が常に利用でき、その尺度を誰が解釈しようとも、結論は常に一意に定まるのである。

ところが、ある文章のどの部分を筆者が最も重要だと考えているのかを問う段になると、事情は大きく変わってくる。そうした問いを詳細に検討してみると、ただ一つの決定的な解釈を許すような尺度は存在しない場合が多いことが分かる。「要素 A は要素 B よりも重要である」といった解釈は、筆者が文中でそのことを明言していない限り、断定的に主張することはできないのである。そして実際、たいていの場合はそうである。にもかかわらず、そのような解釈に関して判断を下さざるを得ない場合は、その判断は読み手側の主観的なものとなる。すなわち、単なる個人的な好みに等しいもの、あるいは、そう言い切るのが強すぎるというのであれば、少なくとも恣意性を完全には排除しきれないものとなるのである。